

✦ 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）だより ✦

～学校を核として 子どもたちを地域で育むコミュニティを目指して～

9 月 8 日(火)、第 2 回学校運営協議会を開催いたしました。今回は、子どもたちが地域に誇りをもって育つための「共通目標」と、大人も無理なく関われる「これからの協働のしくみ」について熟議を行いました。委員の皆様の貴重なご意見を踏まえた現段階での方向性をお知らせします。

I 私たちが目指す「共通目標」を定めました

学校・家庭・地域が一体となり、同じ方向を向いて子どもたちを育てていくため、以下の共通目標を設定しました。

【コミュニティ・スクール 共通目標】

「上諫早がすき！ 人がすき！ あこがれと誇りをもって未来をひらく子ども」

【学校・家庭・地域 役割分担として】

領域・柱	学校の役割 (教育活動・場の設定)	家庭の役割 (日常の関わり・基本的生活)	地域・協働体の役割 (見守り・体験の共有)
① あいさつ・つながり (人と関わる土台づくり)	・笑顔であいさつする指導 ・感謝を伝える機会(お礼状等)の創出	・家庭内での挨拶の習慣化 ・登下校の見守りの方への挨拶の意識	・「笑顔で一言」声をかける (散歩や農作業のついでに)
② 地域を知る・体験する (あこがれ・誇りの育成)	・地域の自然・歴史・人を活かした学習の企画 ・地域の「達人・名人」を授業に招く仕掛け	・伝統行事に親子で参加・話題にする ・「地域の良いところ」を家で前向きに話す	・ゲストティーチャー(畑・郷土料理・伝統芸能等)としての協力 ・特技や魅力を誇りをもって伝える
③ 安心・安全・見守り (あたたかい居場所づくり)	・防災・防犯教育の推進 ・児童の変化や SOS に気づく体制	・通学路の安全確認と指導 ・子どもの小さな変化に寄り添う	・農作業や散歩などの「日常のついで見守り」 ・交通指導への協力(無理のない範囲で)
④ 持続可能な関わり (大人の負担軽減)	・ボランティア募集や準備の簡素化・単発化	・「できる時に・できる範囲で」協力する	・固定役職ではなく「得意なこと・空いた時間」で協力

話し合いでは、共通目標に向けた各領域について大切なご意見が出されました。

① あいさつ・つながり

笑顔のあいさつに加え、「ありがとう」「ごめんなさい」などの基本的な礼儀や感謝の言葉も大切にしていくようにしてはどうか。

② 地域を知る・体験する

コロナ禍以降、地域の自然や歴史に触れる機会に難しさも出ています。子どもたちに地域の魅力を伝える体験を工夫して作っていくようにしてはどうか。

③ 安心・安全・見守り

日常の見守りに加え、河川の氾濫や水害、崖崩れ等を想定した「防災の視点」も重視した安全教育・見守りを推進してはどうか。

④ 持続可能なかわり

保護者の協力意識の向上を図りつつ、「ボランティア制度」を盛り上げて、無理なく関われる体制づくりに取り組んでいってはどうか。

今後、いただいたご意見等をもとに、共通目標に対するそれぞれの役割を再検討し、皆様にお知らせしたいと思います。皆様と一緒に、これからの上諫早地区に関わる子どもたちを育てていきたいと考えております。

2 「できる人が、できる時に、できる範囲で」～活動の新スタイル～

これまでは特定の役員や組織に負担が集中しがちでした。今後は「固定された役職」に縛られず、行事や学習ごとに「この日の1時間だけ」「得意なことだけ」お手伝いいただける「単発（スポット）サポーター」の仕組みも導入していきたいと考えています。

🍷 「のんのこ祭り」×「運動会」の素敵なアイデア！

のんのこ祭りへの参加人数確保が課題となる中、『運動会などの学校行事でもののこを踊る機会を作れば、子どもたちが踊りに親しみ、祭りへの参加率向上や地域の盛り上がりにつながるのでは』という意見が出されました！

【子どもたち・学校への関わり案】（記載している内容は、協議の中の一部になります。）

子どもたちの豊かな学びと安心安全のため、次のような案が示されました。（※第3回目以降に協議予定）

活動領域	具体的な支援・協力内容の例
📖【読書・学習支援】	・月1回程度の読み聞かせの充実 ・ミシン・調理実習補助
👤【地域の先生】 （ゲストティーチャー）	・昔遊び（1-2年）、伝統文化・歴史の話（3-4年） ・とりめし作り指導（5-6年）、着衣水泳指導 など
👤【見守り・生活支援】	・昼休みに一緒に遊ぶ／図書室で過ごすボランティア ・掃除のサポート、夏休みイベント（そうめん流し、図工教室等）

💡 これらの人材協力や地域の『達人』をつなぐ『地域・人材バンクづくり』については、第3回協議会（1月下旬予定）にて再度検討・詳しく協議を重ねてまいります。

🌸 保護者・地域の皆様へ 🌸

コミュニティ・スクールは「大人が頑張りすぎる場」ではありません。地域の大人が無理のない範囲で楽しそうに関わる姿を通して、子どもたちが地域に愛がれや誇りをもつ環境を目指しています。「できる時にちょっとだけ」のご協力を心よりお待ちしております！